



2020年7月14日

各 位

会 社 名 株式会社ディーエムエス
代表者名 代表取締役社長 山本 克彦
(JASDAQ・コード9782)
問合せ先
役職・氏名 執行役員 管理本部長 橋本 竜毅
電話 03-3293-2961

バイオマスラッピングフィルムの提供開始に関するお知らせ ～地球温暖化対策に寄与する資源の活用で環境に配慮～

株式会社ディーエムエス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：山本 克彦、東証 JASDAQ 上場：証券コード 9782、以下当社）は、環境に配慮したダイレクトメール（以下 DM）サービスとして、「バイオマスラッピングフィルム」の提供を開始することとなりましたので、お知らせいたします。

記

1. バイオマスとは

バイオマスとは、生物を由来とする再生可能な有機性の資源で、生ゴミ、廃材、麦わら、サトウキビ、トウモロコシなどに由来するものがあります。

バイオマスを燃焼させると CO₂（二酸化炭素）が排出されますが、光合成によって再び植物に取り込まれ、バイオマスとして新たな資源となることができるので、大気中の CO₂ 濃度に影響を与えない性質を持つことが特長としてあげられます。

2. 内容

(1) 概要

本サービスは、バイオマスを原料とするプラスチックで制作されたラッピングフィルム（※1）を用いて DM を発送するサービスです。

（※1）通販カタログなど大判の DM を外装する際に用いる資材。

(2) 背景

地球温暖化の原因となる CO₂ の削減やゴミの減量などを目的に、2020年7月1日からプラスチック製レジ袋の有料化が実施されるなど、環境問題への取り組みはますます重要性を増してきています。

バイオマスは、地球温暖化対策に寄与することから、配合率 25%以上のレジ袋が有料化の対象外となるなど注目が集まっています。

そこで、バイオマス資源を含むラッピングフィルムを使用することで、環境に配慮した DM をお客様へお届けするサービスの提供を開始することとしました。

(3) 特長

- ・サトウキビやトウモロコシなど植物由来原料のバイオマスプラスチックで環境への負荷を軽減。
- ・一定の基準のバイオマス原料を含んだラッピングフィルムには、バイオマスプラマーク（※2）やバイオマスマーク（※3）の表示が可能。

（※2）プラスチック構成成分として所定量以上のバイオマスを含み、日本バイオプラスチック協会より認定を受けたバイオマスプラスチック製品に使用できるマーク。

（※3）所定量以上のバイオマスを含み、一般社団法人日本有機資源協会より認定を受けた製品に使用できるマーク。

（備考）

※本サービスは、バイオマス原料を含んだラッピングフィルム製品を提供する事業者と連携したサービスです。

3. 環境への取り組み

当社は、DM メディアの性質上、多くの紙やラッピングフィルムを取扱っていることから、環境への影響を重要な課題として捉え、環境保全に対する取り組みを進めています。

- ①バイオマスラッピングフィルムといった環境に配慮した包装資材の使用提案。
- ②環境に配慮した用紙やインキを用いた印刷物の制作提案。
- ③廃棄物のゼロエミッション（※4）達成に向けて、用紙やフィルムを中心に 99%以上の再資源化を達成（当社西浦和業務センター2019年度実績）。
- ④オンデマンド印刷（※5）の活用による適正数量生産。
- ⑤照明設備のLED化によるCO2排出削減（当社西浦和業務センター2020年度計画）。

（※4）リサイクルを促進することで、最終的な廃棄物の排出（エミッション）をゼロにしようとする考え方。

（※5）必要な時に必要な部数を作成するデジタル印刷。

《問合せ先》

株式会社ディーエムエス

管理本部 経営企画室 TEL：03-3293-2992（担当：遠藤）

以 上